



環境にやさしい『農園芸用病害防除剤』

カリグリーン

®はOAT アグリオ(株)の登録商標

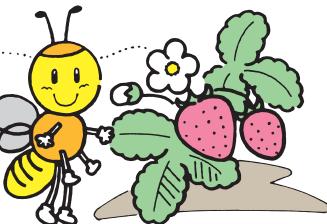
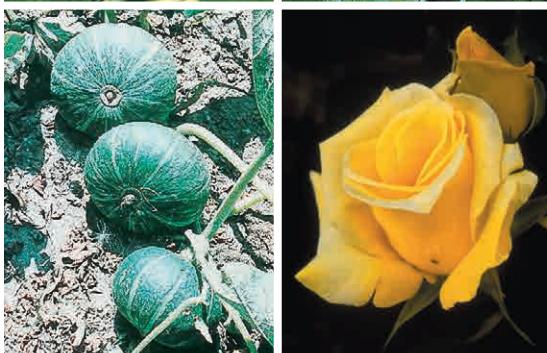
治療的殺菌効果

うどんこ病・さび病・灰色かび病等のすぐれた防除剤。
うどんこ病に対して治療効果を示します。



人や環境にやさしい

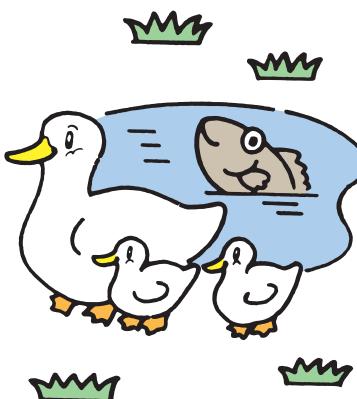
収穫前日まで使用できます。
(たばこを除く)
また、有機農産物の日本農林規格
(有機JAS)別表2に適合する農
薬です。



薬臭がなく、
汚れがほとんど
ありません

ミツバチ、蚕、天敵に
対して影響が小さい

加里肥料としての
登録があります



耐性がつきにくい

本剤の作用性から、病原菌に耐
性がつきにくいと考えられます。



農薬

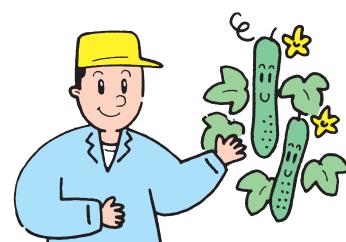
登録番号:第18358号
種類:炭酸水素カリウム水溶剤
有効成分:炭酸水素カリウム…80.0%

肥料

登録番号:生第86632号
種類:粗製加里塩
保証成分:水溶性加里…………37.0%

包装

250g×40袋/ケース
500g×20袋/ケース



石原バイオサイエンス株式会社

カリグリーンの適用病害虫と使用方法

2019年11月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量 (10a当り)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	炭酸水素カリウムを含む農薬の総使用回数
麦類	うどんこ病	500	60~150ℓ	100~300ℓ	—	散布	—
野菜類 (トマト、ミニトマトを除く)		800~1,000					
		800					
トマト ミニトマト	うどんこ病	800~1,000	800	200~500ℓ	—	散布	—
	さび病 灰色かび病 葉かび病						
ホップ	うどんこ病 灰色かび病						
ブルーベリー	灰色かび病						
りんご	うどんこ病						
たばこ	うどんこ病	800~1,000	100~180ℓ	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
花き類・観葉植物 (きくを除く)		800	150~500ℓ	発病初期	—		—
きく	うどんこ病 白さび病						

カリグリーンの作用機作



カリグリーンの上手な使い方

展着剤は必ず加用してください。

- 5~7日間隔で3回散布がより効果的です(たばこは2回)。EBI(DMI)剤などとのローテーション散布等がより効果的です。発病初期(病斑が少し見えはじめた時期)の散布が効果的です。時期を失せず、散布するように注意してください。
- ベンレート、アリエッティ、アリエッティC、木酢、クエン酸および強酸性の葉面散布剤との混用はさせてください。
- 補助成分の凝集によりゲル状の沈殿が生じることがあります。詰まりを防止するために散布機器のフィルターやストレーナーなどの濾過器を定期的に点検し、洗浄していただくようお願いします。

カリグリーンの使用上の注意

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
 - (2) 使用の際は展着剤を必ず加用してください。
 - (3) 病害の発生初期に散布してください。なお多発生の場合は効果の劣ることがあるので、所定範囲の高濃度で使用してください。
 - (4) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調製してください。
 - (5) かぼちゃのうどんこ病に使用する場合、効果がやや低いので、多発生時には散布间隔を短くし、十分な散布量を確保してください。
 - (6) メロンに使用する場合、葉に軽微な褐点、もしくは軽い縮葉症状を生じることがあるので留意してください。
 - (7) 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - (9) 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
使用後は洗眼してください。
 - (10) 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - (11) たばこに使用する場合は日本たばこ産業株式会社の指導を受けてください。
- [貯蔵上の注意]**
直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。

使用前にはラベルをよく読んでください。ラベルの記載以外には使用しないでください。小児の手の届く所には置かないでください。使用後の空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。防除日誌を記帳しましょう。

本印刷物は、2019年11月時点での知見に基づいて作成しています。

取扱い